

月華古吠

城かみ塔A of 001



あらずじ

執政官の屋敷に捕まり数時間、エステリーゼは何人もの男達に輪され望まぬ絶頂を繰り返していた。

そんな中、彼女が正気を保つことが出来たのは仲間への想いだった。
再び仲間との旅を続けるため、
そう強く心に言い聞かせ、強制絶頂に耐えていた。

ようやく満足し性交を終えた男達はエステリーゼを部屋に放置し去っていく。
彼女は収まらぬ絶頂の余韻に身体を痙攣させていたが、心は折れていなかった。

なんとかここから脱出し、メテオラブラスティアを
止める手段を模索していたその時、
一人の男がエステリーゼの背後から忍び寄り胸を揉みしだく。

男は任務でたった今帰還し、エステリーゼが男たちに輪姦されていたことを聞き
自分にも抱かせると迫る。

今はそれどころではないと、最初は拒否するエステリーゼだったが、
この男の隙を突ければメテオラブラスティアを探しに行けると考え、
泣く泣く男のいきり立つ男根を啜え、胸で扱くのがだった。

そして男が油断し背を向けた瞬間、エステリーゼは力を振り絞り、
術を放ち男を気絶させることに成功する。

脱出のチャンスを得た彼女は
捕まる前にメテオラブラスティアを見つけるため、
屋敷を搜索するのだった。

どうだ？
直せそうか？

コアと基盤が
完全にやられています
修理は不可能ですね

これが奴の手紙に
書いてあった
プラスチックアなして
術を使うという
あの娘の力か……
にわかには信じ難いが
術を使ったエア跡がある……

この事はまだ
執政官に
教えていないが……

おのれ！
どんな手段で貴重な
メテオラプラスチックアを
壊したのだ!?

とりあえず
エア跡の付いた
この部品を詳しく
調べてみるか……

先ほど
捕まえた時点では
何の武器も
プラスチックアも
所持していなかった
はずだというのに！

この事を「あのお方」は
知っているのか？
いや知らないはずがない……
そしてこの力を利用しようと
考えているのだろうか

さて……
どちらに付くか
今一度よく考えねばな
そのためにはもうしばらく
執政官の様子を伺うか……
しかしあの娘の正体次第では
別の道も視野にいれなければ
ならないが……



執政官屋敷内
— 地下拷問部屋 —

っう……
く……うう……

ふう……ぐ
うあ……っ

メテオラブラスティアは
何とか一回だけ出せた術で
壊すことが出来た……
その後捕まってしまったけど
…大丈夫……!
皆が魔物の角を
手に入れてくれるまで
耐えられる……!!

これぐらい…
っうう……

ふふふ♪
ラゴウ様に逆らうなんて
バカな人♪

っ!





アッハハハハハ!
感じてるんですか!?
鞭で打たれて
気持ちいいんですかあ!?

ほら! イけ!
鞭で打たれてイけ!
マゾ豚! 変態!
アハハハハッ!

え？
まさか本当に？



あつ……あ
……ああ……あつ！



今頃あの小娘は
私に粗相をしでかした事を
後悔しているだろう
いい気味だ

しかし……
よろしいのですか？

メテオラブラスティアを
破壊された今
娘の仲間が
リブガロの角を持って
すぐにでも乗り込んで
くるやもしれませんぞ

早く
ヒノブラスティアの
効果を確かめねば
ならないのでは？

なあに
自然に雨が降るには
もうしばらくかかる

……

それよりも今は
この憤りを晴らす事が
優先なのだ！
この私に生意気な態度を
とった報いをな！

執政官といえど
所詮はこの程度の器か……

おい！
ラゴウ！

貴様！
ワシの部下を
勝手に集めて
何を企んでいる！！

ちっ……
うるさいのが
来おって



貴様の飼い犬に
なったつもりはないと
言っているはずだ!

もちろん
そのようなことは
ありませんよ

今回も「対等」な
関係の上で
いい提案をした
までですよ



なんだと?

あなたのギルドの方々が皆
女っ気がないと
愚痴をこぼしていたのでね…

今はお互いに
良好な協力関係を築くため
「レクリエーション」を
開催したいと思い
手始めに団員数人に
試遊していただいたのですよ



やっとヒップクラスタティアを使うようだ
しかしこれで…執政官…
ラゴウを見極められるか?
まだ分からん…
様子見次第だが…どうなる?

ククク!
その目で確かめなさい
見物に行けばわかりますよ
そろそろ頃合いでしょう

レクリエーションだと?
まさか「アレ」を
するつもりなのか?
そんな事ができる女など
いるというのか?



キズの具合は
どうですか？

術でちゃんと
治っていると
思いますけど♪



これから行く場所では
今まで以上に楽しい事が
待っていますからね♪
しっかり万全の状態に
しておかないと♡

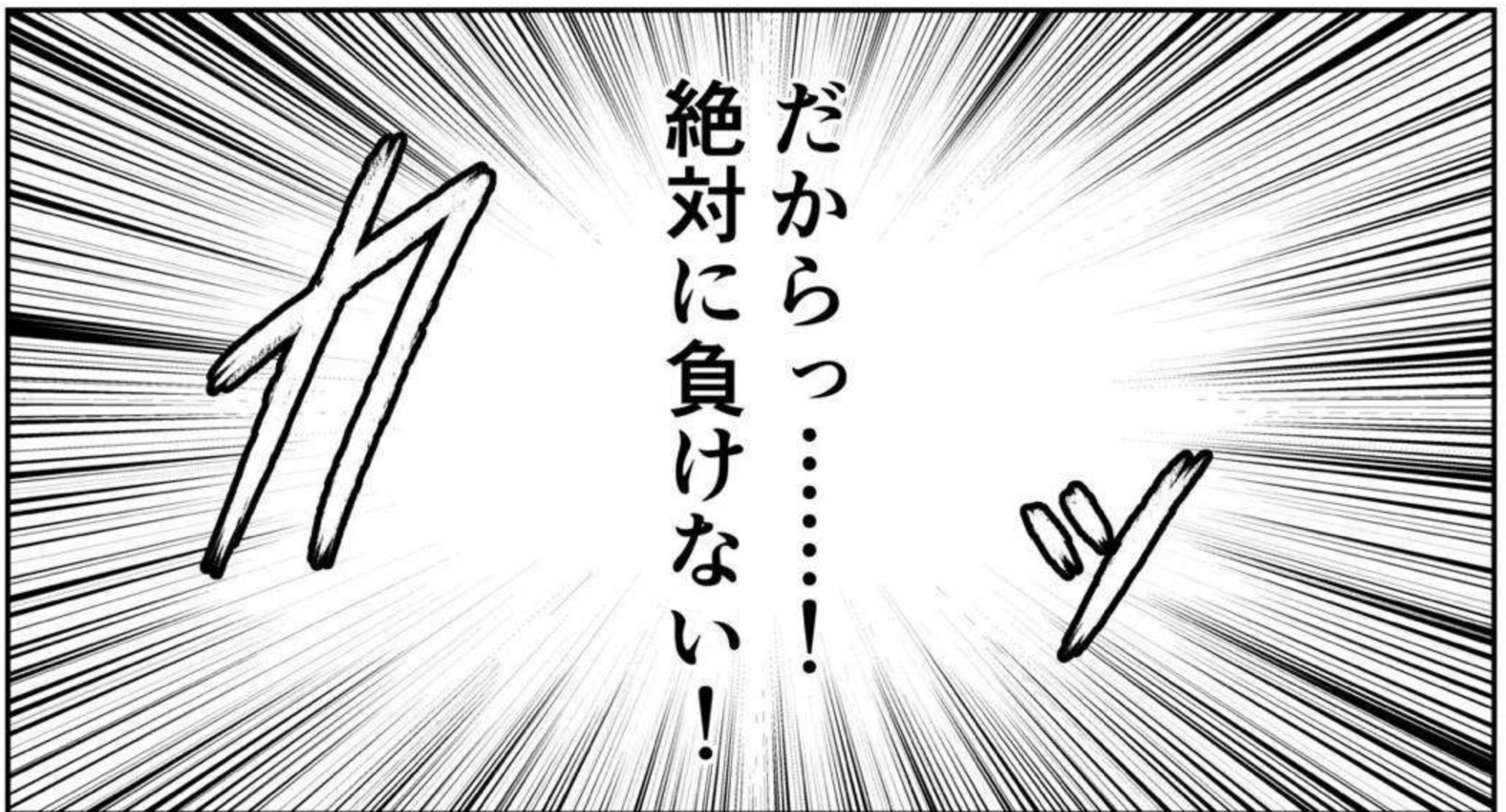
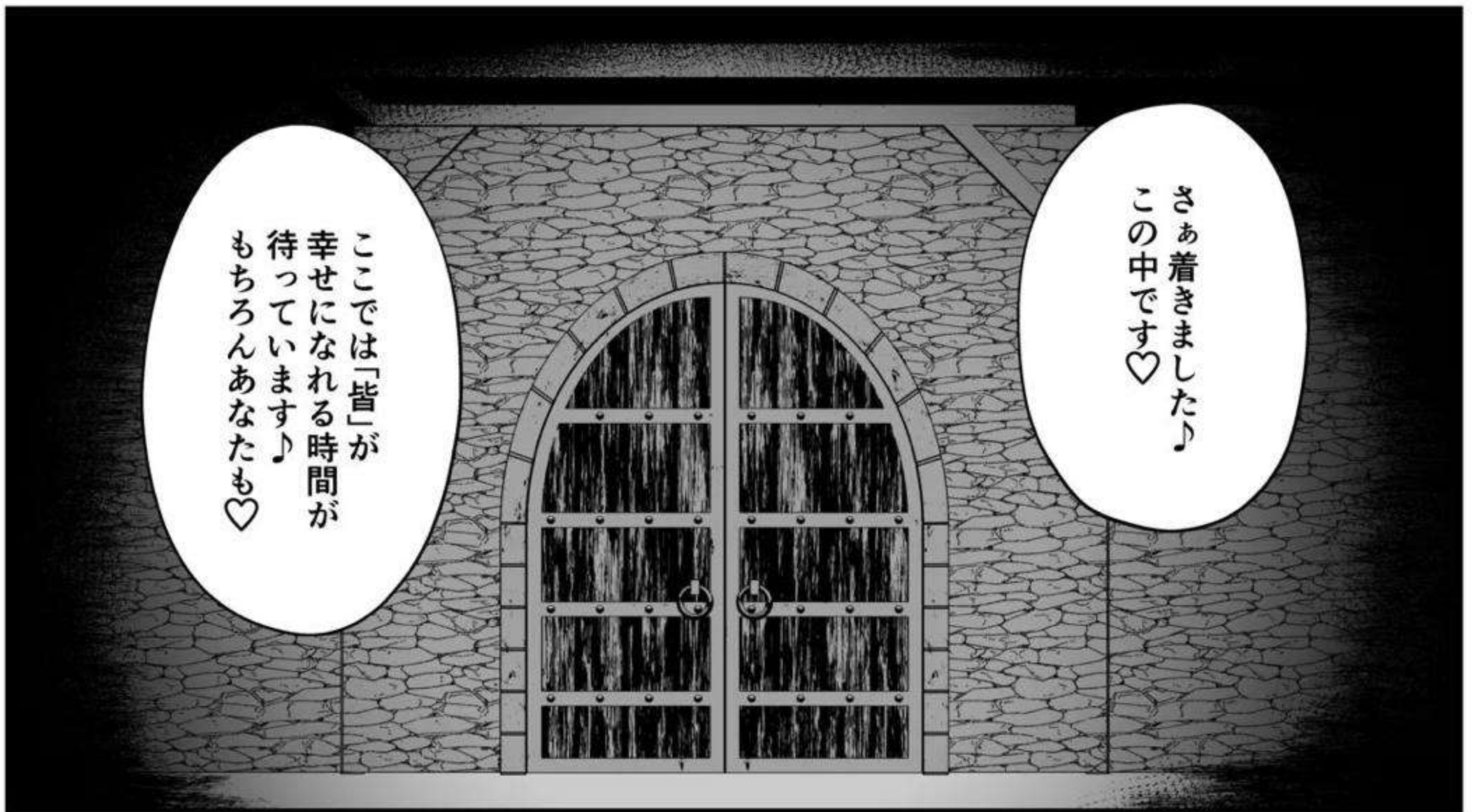


それよりも……
さつき装備させられた
このブラスティア……
執政官……今度はいったい
何を企んで……

……



わたしの体力を
回復させるなんて
……何が目的？
いずれにせよ
こんな格好で
行く場所なんて
想像通りの所……





知ってますか？
ノードポリカでは
一人で幾人とも戦う
闘技大会が行われて
いるんです♪

……っ！

次々と襲い来る
猛者たちを相手に
たった一人で……



そ……そんな……！
まさか……！！

戦う最大人数は
200人！
今から行われるイベントは
そんな闘技大会を
参考に作られた……



「裏・200人組手」！

こいつかあ？
今回の挑戦者はあ！

ぎやははは！
なかなか上玉じゃねえか！

ひやつひやつひゃ！
久しぶりのイベントだぜ！

もうたまんねえ！
早く始めろ！



ひゃっほーう!
久々の当りだぜえ!

ゲハハハハ!
今回は
何人持つかなあ?

ひひひひ!

はあはあ……!
うそ……これから……

あ……あ!
こんな大勢……
い……や……!

大分頑丈な女らしいなあ!
多少乱暴に扱っても
いいって話だぜ!

がはははは!

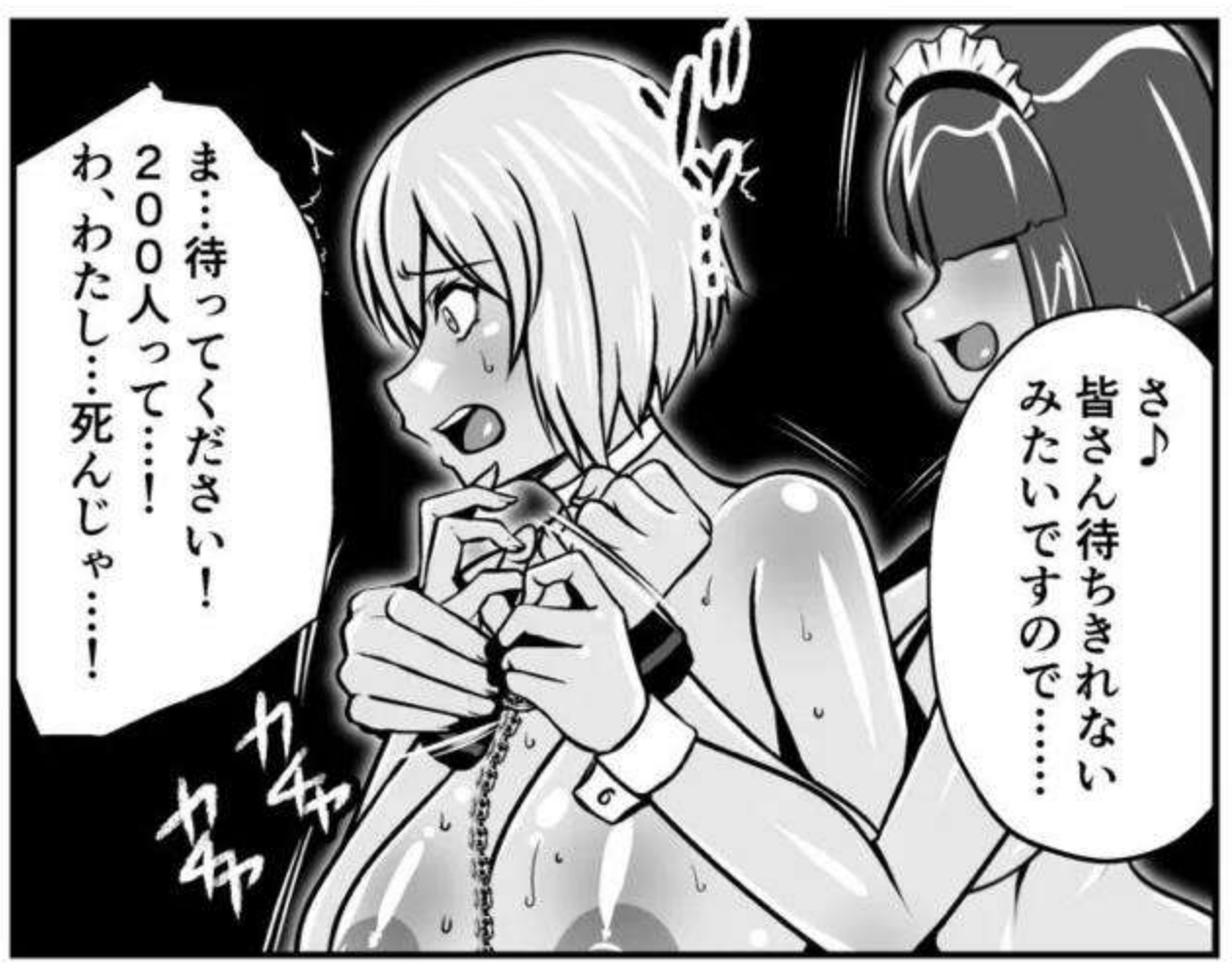
ぐほほほ!
マジかよ!
こいつあ

益々興奮してきたぜ!



では死んでください♡

うわああ!



さ♪
皆さん待ちきれない
みたいですので……

ま……待ってください!
200人って……!
わ、わたし……死んじゃ……!

ひやつひやつひやつひやつ!

女っ!

女!

ぎゃはははは!

ひ...っ!

ヒヒヒヒ

女!女あ!

ぐははははあ!

女だ!

おはははは!

ヒヒヒヒ

ヒヒヒヒ

ヒヒヒヒ

ヒヒヒヒ

ヒヒヒヒ





裏・2000人組手！
開始だアアア！

だめ！
離してっ！

うおおおおお！

やだ……！
助け……っ！

いやああ
ああああ
ああああ
ああっ！！



いいぞ!
もっと吸いつけ!
おらっ!

んぐっ!
んんんっ!

んぶ...っ!
ぶぶっ!

ひひひひ!
うめえぜ!
最高だこの女!



早く代われよ!

うっせえぞお前ら!
まだ始まった
ばっかだろうが!

んぐうう!
んえっ!

こっちも
我慢できねえんだ!
手も使わせろ!



ひやははは!
慣れてるぜコイツ!

何人もの男を
相手にしてきた
らしいぜ!

んっ!
んむうう!

んえあ!
ぷええ!

どおりで
フェラだけで
濡れてきてる
わけだ!

マジかよ!
生まれながらの
娼婦ってかあ!
がははは!



もっと奥まで
啜えんだよ!

あもっ!
おおお!

わたし: : どうなっちゃうの!!
昨日まで犯されてきた人たちの
何倍もの数を相手に: : : : : っ!



この肉奴隷
吸いついて
離さねえぜ！

口の中で
感じてんのか！
マゾ女が！

こんな……
酷い蔑みの
言葉を言われて
貶されているのに
……

ぶっ！ぶっ！
ぶっ！
ぶっ！



いいぞ！
そのまま扱け！

まずは一発目！
出してやる！

んぐう！
んんんっ！

こっちもだ！
くらえっ！



ぶっ……！

っっっ！！



ああ……っ
はあ……あ……
あ……あ……

記念すべき一発目！
口に出してやったぜ！
有難く思えよ！
ぶはははは！

カッ
カッ
カッ

カッ
カッ
カッ

カッ
カッ
カッ

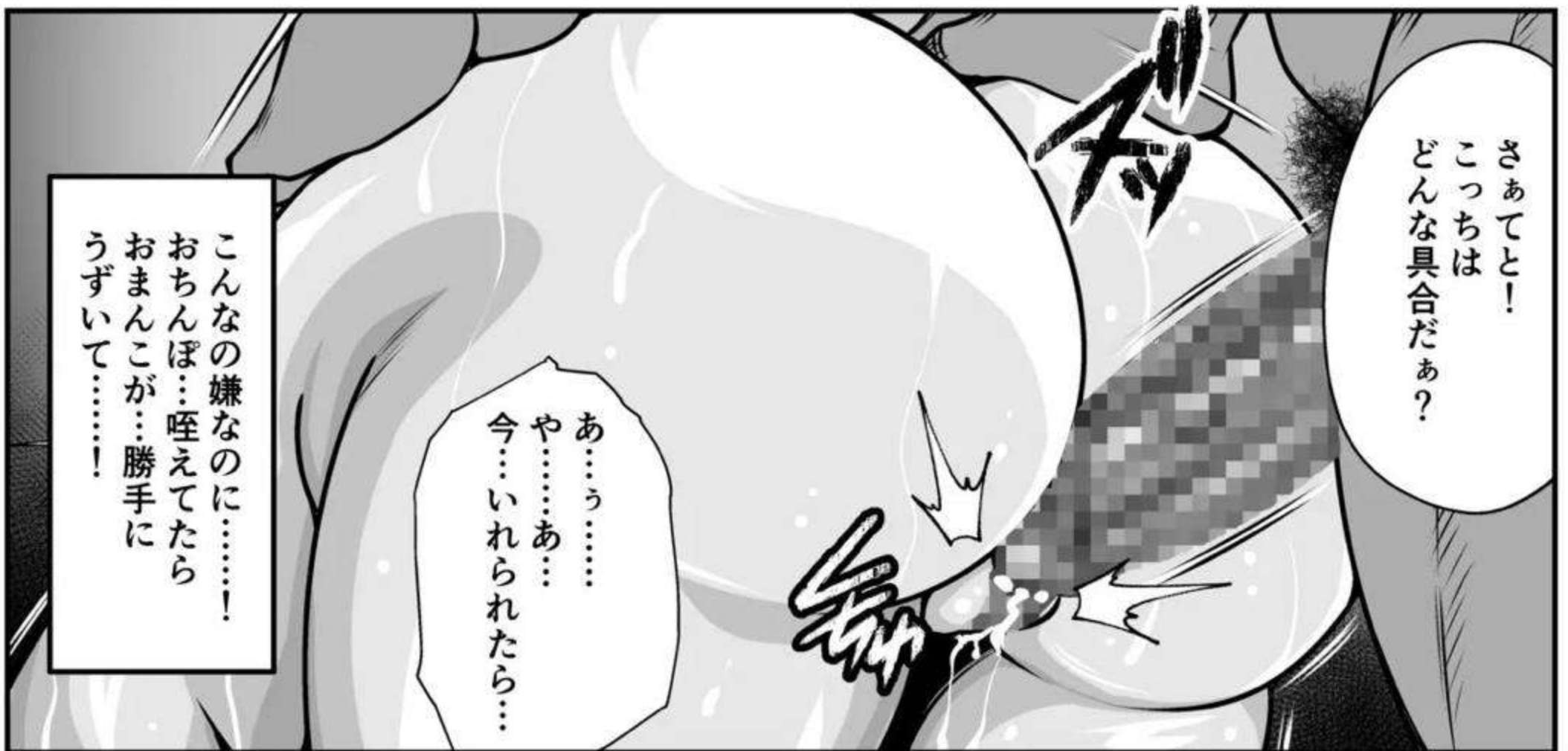


今度は俺だ！
おらあ！

ひああ!?

カッ
カッ
カッ

カッ
カッ
カッ



さてと！
こっちは
どんな具合だあ？

こんなの嫌なのに……！
おちんぼ……啜えてたら
おまんこが……勝手に
うずいて……！

あ……う……
や……あ……
今……いれられたら……

カッ
カッ
カッ

カッ
カッ
カッ

ぬおおお!
中も極上だぜ!
この奴隷!

んう…う!
はいって…!!

これじゃ…また!
無理矢理イカされちゃう!

うあああ!

それだけじゃない!
今度は…
こんな大勢に
犯されたら…!!

あああ!
奥っ…!!
だめえっ!

頭が…
おかしくなる!



ぬおおお！
出すぞ！

あつ！ああ！
はああ！



最高だぜ！
肉が絡みついて
すぐに出ちまう！

んあつ！
ひああああ！



へあ……あ
あ……



んいっ……！
子宮……出て……
ザーメン……
いっぱい……！

くううう！
搾り取られる！

身体……
イきやすく……
なって……る……
もう……頭……
真っ白……に……



しゃあっ!
やっとなの
番だな!

ん……
ぶう……うう……



あ……う
でて……る……



何してんだ!
穴向ける!

きゃあ!



久しぶりの女だぜ!
楽しませろよなあ!

痛……っ!
うああああ!

出
出

出



ぎやはははは！
マヌケ面でよがれ！

また……っ！
激し……い！
あああああ！

サッ

サッ

サッ

サッ

サッ



んぎう……っ！
おっぱいも……！
だめえええ！

サッ



おちんぼが……！
奥にっ！
深く挿ささって……！

サッ

サッ



やだ……!
やだ……!



ぬおおお!
締め付け
やがる!

うっ……!
ああ……あ!



……
っっ
!!



ふんんんっ!

ひあああっ!
あ! あああっ!



おらおらっ!
もつと鳴け!
もつと締め付けろ!
おらあああ!

やっ……いやあ……!
乳首……っ
しごいちゃ……っ!



やめ……てっ！
乳首が……あっ！
ジンジンして……！
だめ……です……っ！



あが……っ！
出る……っ！
おっぱい出ちゃ……っ！
あっ……！！

いくっ……！
おっぱい出て
いっちゃ……っ！
うあああ……っ！

ジュッジュッ！





こ…壊れ…るっ！
おまんこ…壊れちゃ！
うああああつ！

ぬうん！
出すぞ！
出すぞお！

ま…待って！
これ以上は…
わたし…っ！



まるで魔物だな
だが…
あの小娘ならば
確かに…

ええ
あなたの部下たちも
満足するでしょう



知るか！
狂い死ね！

そうだ！
死ね死ね！
ぶはははは！

いやっ！いく！
また…っ
いつちや…！



あが……っ！
う……あああ！
はあはあ……っ！

ひっひやひやひや！
大量大量！
久しぶりにこんなに
出したぜ！



ひびく

ひびく

ひびく

ひびく

ひびく

ひびく

ひびく



あ...か...つ
うえ...あ...
かは...つ

あ...あ...
あ...つ...
あ...つ...



だが！
貴様の飼い犬に
なったわけではない！
それを忘れるなよ！

ククク！
もちろんこれからも
対等の立場でお互いに
協力していきましょう



これで納得して
もらえましたかね？

ふん！まあな！
ワシの部下達は
血の気が多い！
たまにガス抜きを
させてやらねばな！



みんな……
り……タ……
わた……しは……
負……けな……っ

いったい……
いつまで……
つづく……の？



まだ終わんねえぞ！

裏・2000人組手！
俺ら「全員が満足」するまで
輪わしてやるからなあ！

おーしっ！
次どいつだあ！？

俺だ！
俺っ！

いや俺だろ！
お前はあとだ！

誰でもいい！
早くやって代われ！



